

1 議題 情報機器を正しく活用しよう

内容 (1) ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 指導計画 (4時間完了)

- (1) インターネットの公開性と記録性について考えよう・・・1時間 (本時1/1)
- (2) スマホ・ケータイ安全教室・・・・・・・・・・・・・・2時間
- (3) 学んだことをまとめよう・・・・・・・・・・・・・・1時間

3 本時の指導

(1) 目標

情報機器の正しい活用方法を知り、インターネット上で適切にコミュニケーションをとることができるようにする。

(2) 情報活用能力の育成について

インターネットの特性である公開性・記録性について知り、情報機器を正しく活用しようとする態度を育む。

(3) 準備

教師：指導者用タブレット型PC、ワークシート（Yチャート・フローチャート）
プロジェクタ、付箋、まとめプリント

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
6分	1 SNSを使う中で、不快に思ったことや困った経験について発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時は、SNSで投稿する際に何に気を付けなければならないかを考えることを伝える。 ○ インターネットを使う時には、法的に問題がないか、他人に迷惑をかけないか、自分に悪い影響がないかの3つの視点で考える必要があることを伝え、本時もその3つの視点で考えていくことを知らせる。
4分	2 教材を視聴する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導者用タブレット型PCを用いて、文部科学省の情報モラル教材「教材⑧情報の記録性、公開性の重大さ」の前半を視聴させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><教材の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ストーリー1 中学生の頃に投稿した友人の悪口を、高校の友人に見られた。 ・ ストーリー2 撮影禁止の美術館で撮影した写真をネット上にアップした。 ・ ストーリー3 友人の写真を勝手に撮り、それをネット上にアップした。 </div>

15分	3 視聴した教材のトラブル事例について、良くなかったと考える点を話し合う。	○ Yチャートを配布する。3つの視点(法的に問題がないか、他人に迷惑をかけないか、自分に悪い影響はないか)で、良くなかったと考える点を付箋に書き込み、Yチャートの該当するところに貼らせる。
15分	4 SNSに投稿する前にチェックするフローチャートを作成する。	○ フローチャートを考えるためのワークシートを配布する。 ○ Yチャートに貼った付箋のうち、一番重視したいものをそれぞれの観点から選択させ、フローチャートの分岐の部分に貼らせる。 ○ 無責任な投稿がどのような結果をもたらすかを考えさせるために、分岐のYESの先には、もしこのまま投稿してしまうと何が起こる可能性があるかを考えて記入させる。
5分	5 教材の解説を視聴する。	○ 学習活動2の続きの動画を視聴させる。 ○ まとめのプリントを配布し、本時の授業で学んだことを、日常生活でどのように生かしたいかを記入させる。
5分	6 振り返りをする。	○ トラブルにつながらないように、情報機器を適切に使いながらコミュニケーションを取ることが大切であることを伝える。

評価事項

情報機器の正しい活用方法を知り、インターネット上で適切にコミュニケーションをとることができる。【ワークシートの記述】

- … 事例を見て、良くなかった点を考えることができない生徒には、自分がこのようなことをされたらどんな気持ちになるか問いかけ、自分に置き換えて考えさせる。
- ☆… 不適切な投稿をするとどのようなことになってしまうかを考えることができた生徒には、そのような事態を防ぐために常日頃から何に気を付けたらよいか考えさせる。

※斜体…情報活用能力を育成する学習活動